

授業科目：	教職実践演習		
科目区分：	教職専門科目	受講者数：	9名
担当者：	門戸 千幸（総合教育センター）		
アクティブ・ラーニングのタイプ：	行動型 ・ 参加型 ・ 複合型（※行動型・参加型ALを組み合わせで実施）		
キーワード（具体的なAL手法等）：	構成型ジグソー、グループ学習、ロールプレイ、ループリック		

1. 授業の概要と目標

教員として必要な資質・能力を演習等を通して身に付ける。本時は「特別な支援を必要とする生徒への指導の在り方」について、既習の知識を活用して実践的に学ぶ。

2. アクティブ・ラーニング導入の具体的な流れ

○科目名 教職実践演習

段階	指導過程・学修活動	指導上の留意点(工夫)	評価方法
導入 20分	<ul style="list-style-type: none"> ○授業はじめの挨拶 ○ショート演習「学校におけるリスクマネジメント」を考える。 ○国泰寺高校の授業参観の感想から「主体的・対話的で深い学び」について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・ジグソー学習によるインシデントプロセス研修 ・事例を基に小集団学修 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質・能力(観察) ・思考力(発言)
展開 60分	<ul style="list-style-type: none"> ○「教育資料」から特別支援教育についてレポートを発表する。 ○特別支援教育の現状について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育について ・学習のユニバーサルデザインについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生同士の質疑応答 ・特別支援教育に係る現状を振り返らせる。 ・教育実習での体験等を想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力(発言) ・思考力(ノート)
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育について振り返る。 ○次回の「教育資料」のレポート課題通知 ○授業終わりの挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の言葉でまとめさせる。 ・隣同士で確認させる。 ・役割演技 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力(ノート) ・教員としての資質・能力(観察)

3. 成果・効果

- 学生の主体性が発揮でき、体験によって知識がより定着する。
- 協働的な学修の意義を体得できる。
- より実践的なスキルの習得が可能。

4. 課題

- 欠席者への対応。(体験によって学修する内容は資料の説明だけでは補えないものがある)

5. 資料

- ループリック

教職実践演習自己評価ルーブリック

H.31. 1. 25

観点	A. 実践力	B. 応用力	C. 基礎力
【知識・技能】	国語科・社会科(地歴・公民科)・英語科及び各領域の指導等について実践的な知識と技能を身に付け、授業参観や演習の中で実践することができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (6点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (5点)	国語科・社会科(地歴・公民科)・英語科及び各領域の指導等について実践的な知識と技能を身に付け、授業参観や演習等で関連付けることができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (4点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (3点)	国語科・社会科(地歴・公民科)・英語科及び各領域の指導等について実践的な知識と技能を身に付けることができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (2点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (1点)
【思考力・判断力・表現力】	模擬授業や学習指導案作成時に学習指導要領・生徒指導提要等に応じた適切な学習指導・生徒指導等ができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (6点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (5点)	授業参観や演習等において学習指導要領・生徒指導提要等に応じた学習指導・生徒指導等ができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (4点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (3点)	学習指導要領・生徒指導提要等に応じた学習指導・生徒指導等が具体的な生徒の姿で理解できる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (2点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (1点)
【主体性・協働性】	模擬授業や学習指導案作成時に学校教育の全体像を見据えた学習指導及び生徒指導等ができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (6点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (5点)	授業参観や演習等において学校教育の全体像を見据えた学習指導及び生徒指導等を確認しようとしている。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (4点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (3点)	学校教育の全体像を見据えた学習指導及び生徒指導等を考えようとしている。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (2点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (1点)
【教職に必要な資質・能力】	倫理観に基づき、価値観の異なる相手に対しても相手を尊重し、組織の目標達成に向けて協働することができる。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (6点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (5点)	倫理観に基づき、リーダーシップを発揮してより良い学修を図ろうとしている。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (4点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (3点)	倫理観に基づき、コミュニケーションスキルを発揮してチームワークを保ちつつ自己の学修をコントロールしている。 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 (2点) <input type="checkbox"/> 半分程度達成 (1点)

・各観点の項目について、現在の到達段階を、「A. 実践力」(6～5点)、「B. 応用力」(4～3点)、「C. 基礎力」(2～1点)で自己評価する。その際、A～Cに記述された内容について、「ほぼ達成」「半分程度達成」のいずれかを選び、にチェックを入れる。